

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられた皆様へ

当院では下記の臨床研究に用いるため、患者さんの試料・情報を利用させていただいておりますので、お知らせいたします。

臨床研究名称： 皮膚悪性腫瘍基底細胞癌の手術における適切な surgical margin と再発リスクの検討

研究の目的

基底細胞癌は、皮膚悪性腫瘍のうち遠隔転移をすることが珍しい癌であり、適切な治療を受けることで完治すると言われています。その中でも外科的に切除する方法において、どれ位の切除範囲を設けて切除すると再発リスクが減るかという疑問に対して、様々な議論がなされてきました。この研究では、少ない切除範囲で再発リスクを減らすにはどうしたらよいかを明らかにするため、患者さんの実際の治療結果をまとめてデータを解析します。そしてできるだけ患者さんへの負担を減らし、切除する部分を減らしつつ、癌を治し、さらに整容面を保つ方法を検討します。

研究実施期間： 実施許可日～令和8年3月31日

対象となる方： 2013年1月1日～2022年12月31日までに、弘前大学医学部附属病院形成外科で基底細胞癌を切除する手術を受けられた患者さん。

利用させていただきたい試料・情報について

(他機関に提供する場合、提供先機関の名称及び当該機関の研究責任者氏名含む)

当院のカルテに記録されている情報のうち、腫瘍の部位、大きさ、腫瘍の色や境界、手術所見、再発の有無、病理検査結果について、標記研究課題実施のために利用します。具体的には、手術の方法と基底細胞癌の再発率について、統計解析的手法を用いて比較します。さらに基底細胞癌の種類や悪性度、手術で癌を取り切れていたかどうかを確認して、再発率に関係しているかを再評価したいと思います。

なお、利用に当たっては氏名、住所、電話番号、患者番号等個人を特定できる情報を削除し、本研究のための固有の番号を付して(これを匿名化といいます)、行います。

研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。研究から得られた個別の結果については原則としてお答えしませんが、希望される方は下記連絡先までご連絡ください。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、試料・情報の利用に同意いただけない患者さん/その代理人の方は、以下の連絡先までご連絡ください。

研究への利用に同意いただけない場合、当該患者さんの試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承願います。

本件連絡先

弘前大学医学部附属病院 形成外科 京野香織 0172 - 39 - 5119 ,
kk505199@hirosaki-u.ac.jp